

平成29年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
21107	韓国語 Korean Language	李 建胤	基礎	1	選択	1年 前期
科目の概要						
日本語と韓国語の間では、語順がほぼ同じであることや類似する発音も多く存在するため、ハングルの読み方さえできればとても早く習得できる言語である。 本講義では、韓国語に用いられている、「ハングル」の文字体系(子音・母音・終声子音)を習得し、自ら読み書きができるようにすると同時に簡単な会話や自己紹介が出来ることまでを学修目的とする。						
学修内容			到達目標			
① ハングルの母音体系を理解する。 ② ハングルの子音体系を理解する。 ③ 韓国語の助詞と語順を知る。 ④ 疑問詞を用いて実際の会話に適用する。 ⑤ 韓国語で自己紹介を実施する。			① ハングルの母音体系の原理を知ることができる。 ② ハングルの子音体系の原理を知ることができる。 ③ 話したい日本語を自ら考えることができる。 ④ 必要な単語を使い会話に適用することができる。 ⑤ 韓国語で自己紹介が出来る。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	ハングルの音韻を書きながら発音練習をするなど自己学修ができる。				
	働きかけ力					
	実行力	ハングルの文字体系が理解できるように繰り返して声を出して発音練習をすることができる。				
考え抜く力	課題発見力	ハングルの音韻原理に基づいて日本語との違いを認識し、正確な発音ができるように理解することができる				
	計画力					
	創造力	日本語との語順の類似性を生かし、自ら韓国語の文章を考えることができる。				
チームで働く力	発信力	自己アピールポイントを簡単な文章にまとめ、みんなの前で発表することができる。				
	傾聴力	他の学生の自己紹介を聞いて、自分との違いを比較することができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	講義中の私語、無断欠席、遅刻など授業に支障をきたすことはせず、ルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
テキスト:使用しない。プリントを適宜配布する。						
他科目との関連、資格との関連						
学修上の助言			受講生とのルール			
<ul style="list-style-type: none"> 配布プリントとノートは、専用のファイルにまとめて置くようにして下さい。 講義後は授業内容を必ず復習するようにして下さい。 			<ul style="list-style-type: none"> 授業で配布した資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらうようにして下さい。 携帯電話は、辞書機能を使う時以外は、電源を切ってカバンにしまっておいてください。 			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	60	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・課題①「学修内容に関する小テスト」A4用紙1枚(両面)(30点) ①ハンゲルの文字体系・基礎的な単語・短文の翻訳/作文を確認する。 ・課題②「韓国語の自己紹介文」10文章位を目安とする。(20点) ②伝わりやすい言葉で表現できているかを評価する。 ・課題③「授業後の感想」(10点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	30	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> (発信力)①自ら作成した韓国語の自己紹介を発表する。 ②暗記して自己紹介が出来ることを評価する。(20点) ③明瞭な発音で発表することが出来ることを評価する。(10点)
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①		<ul style="list-style-type: none"> (主体性)・語学力を身に付けるために自ら予・復習をすることが出来る。 (実行力) ② ③ ・授業で学修した内容を日常的な場面で意識的に活用することが出来る。 (課題発見力) ④ ⑤ ・様々な会話の場면을イメージしてそれに必要な言葉を覚えることが出来る。 (創造力) ・学修した文法や単語を応用して自分の表現に変えることが出来る。 (発信力)・人の前で韓国語を使って自己アピールをすることが出来る。 (規律性)・無断欠席、学修意欲の欠如など授業に支障をきたす行動をせざるを守ることが出来る。
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベル A(優)の基準	到達レベル B(良)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンゲルを文字表を見ないで読むことができる。 ・自己紹介の時に原稿を見ないで明瞭な発音で発表することができる。 ・レポート課題を90%以上完成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンゲルの仕組みを理解でき、文字表を見ながら発音ができる。 ・自己紹介の際に原稿を見ながら明瞭な発音で発表することができる。 ・レポート課題を70%以上完成することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション及びハングルの仕組み(子音・母音・終声子音)について	講義	ハングルで自分の名前を書くことができる。	配布した資料の文字表を見て子音と母音を覚えること	45	主体性 実行性
2週 /	ハングルの母音体系(単母音・二重母音)を学ぶ。	講義	単母音と二重母音を読み書きができる。	母音の「ㄱ・ㄷ」、「ㅁ・ㅂ」の違いを復習すること	45	主体性 実行性
3週 /	ハングルの子音体系(濃音・硬音・激音)を学ぶ。	講義	子音の書くことが出来る。	子音の音韻特徴を発音できるように復習すること	45	主体性 実行性
4週 /	子音と母音を組み合わせた文字を読み・書き・発音を合わせて学ぶ。	講義	文字を書いて読み方を書くことができる。	韓国語の単語にフリガナを書いて、意味を覚えること	45	主体性 実行性
5週 /	韓国語の「てにをは」学ぶ。 -助詞「は・が・を」-	講義	二種類の助詞を使い分けられることができる。	助詞の使い分けが説明出来るように復習する。	45	主体性 実行性
6週 /	助詞「は・が・を」で単文を作る。	講義	主語と述語をつないで単文を作ることが出来る。	表現してみたい日本語を単文形式で作文すること	45	主体性 実行性 創造力
7週 /	動詞・形容詞の基本形を学ぶ。 -日本語との違いを理解する-	講義	動詞と形容詞の特徴を理解することが出来る。	よく使われる動詞や形容詞の基本形を覚えること	45	主体性 実行性
8週 /	動詞・形容詞の活用法を学ぶ -です・ます体/疑問文-	講義	「です・ます」体の文法規則を理解できる。	用言の活用が出来るように復習すること	45	主体性 実行性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	動詞・形容詞の過去形を学ぶ -でした・ました体-	講義	過去形の活用法を理解できる。	用言の過去形の活用法を復習すること	45	主体性 実行性
10週 /	韓国語で自己紹介文を書く -印象に残る自己紹介文を考える-	演習	自分のアピールポイントをまとめることができる。	日本語の自己紹介文を書いてくること	45	主体性 実行性 創造力
11週 /	自己紹介文を添削する-発表に備えて読む練習をする-	演習	相手に伝わりやすい文章を考えることができる。	分かりやすい日本語で表現できているかを確認すること	45	主体性 実行性 課題発見力
12週 /	実践① 自己紹介文を発表する。	発表	自己紹介文を読むことができる。	声を出して自己紹介が出来るように読む練習をすること	45	主体性 実行性
13週 /	実践② 韓国語で質問をする。 -日本語をベースに考える-	発表	作文の際に日本語の語順を取り入れることができる。	柔軟な質問が出来るように会話の場面を想定してくること	45	主体性 実行性 働きかけ力
14週 /	実践③ 韓国語で会話をする。-相手と連続3回以上会話を続ける-	発表	韓国語で3回ほど質問をすることが出来る。	想定した場面に対応できる質問を考えてくること	45	主体性 実行性 働きかけ力
15週 /	まとめ 韓国語を聞き取る。	演習	聞き取れた韓国語を日本語で言うことができる。	今まで学修した韓国語の単語を確認すること	45	主体性 実行性 情報把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力